



激変するビジネス環境や多様化への対応力が求められる“変革”の時代、これからの人事には経営の意思決定に寄与し、事業の成長を支える新たな役割が求められています。

一方でAI・ビッグデータ・IoT・ロボット等、ICT（情報通信技術）の日進月歩の進化に伴い、データ活用の重要性が叫ばれる中、多くの企業では人事領域のデータ活用が、まだまだ限定的な範囲にとどまっています。

人事の意思決定を経験や勘に頼ることなく、理論やデータを科学的に活用する……。人事業務を高度化・効率化し、経営者にとって頼りがいのあるパートナーとして、人事の役割を全うすることが、従来にも増して要求されています。

日常の人事業務に当たり前のようテクノロジーを使う時代がやってくるのは、まだまだ先のことでしょうが、第一歩を踏み出さない限り、人事の未来図は描けません。

今回のフォーラムは、いち早く HRTech を活用した人事施策に取り組み始めた3社の具体的な活用事例紹介やトークセッションを通じ、HRTech による明日の経営と人事のあり方を皆様と共に考えていきます。

参加を希望される方は、裏面の申込書に必要事項を記載し、お申込みください（参加費無料）。

■ プログラム

【テーマ】 データとテクノロジーに基づく次世代型の人事戦略 ～HR Techにより実現可能となる経営人事・戦略人事～

【日時】 2019年4月12日（金） 14:00～17:30

【場所】 パソナグループ本部ビルJOB HUB SQUARE 10FセミナールームE 〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-2

| | | |
|---------|---|---------------------|
| 【プログラム】 | 《PART1》 「データドリブンHRマネジメントの最新動向」 | 慶應義塾大学大学院 岩本 隆 氏 |
| | 《PART2》 企業事例紹介 | |
| | ①「HR Tech: 日立のチャレンジ」 | 日立製作所 高本 真樹 氏 |
| | ②「アクセンチュアにおける“デジタル新時代”のHR Tech活用の狙いと事例」 | アクセンチュア 武井 章敏 氏 |
| | ③「できるところから、まず始めています！～サトーホールディングスのHR活用への取り組み～」 | サトーホールディングス 江上 茂樹 氏 |
| | 《PART3》 トークセッション 「HR Techの活用方法と今後の可能性」 | 登壇者全員 [進行役] 岩本 隆 氏 |

■ 登壇者のご紹介

慶應義塾大学大学院
経営管理研究科
特任教授

岩本 隆 氏



株式会社日立製作所
人財統括本部
サービス&ビジネス総務本部 担当本部長

高本 真樹 氏



アクセンチュア株式会社
執行役員 人事部長
グローバルHRマネジメントコミッティーメンバー

武井 章敏 氏



サトーホールディングス株式会社
執行役員 最高人財責任者(CHRO)
(兼)北上事業所長

江上 茂樹 氏



東京大学工学部金属工学科卒業。カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)工学・応用科学研究科材料科学・材料工学専攻Ph.D.。日本モトローラ(株)、日本ルーセント・テクノロジー(株)、ノキア・ジャパン(株)、(株)ドリームインキュベータを経て、2012年より現職。

1986年(株)日立製作所入社。大森ソフトウェア工場、本社社長室秘書課、日立工場勤務部、電力・電機グループ勤務企画部、北海道支社業務企画部など主として人事総務畑を経験。その後、都市開発システム社いきいきまちづくり推進室長、(株)日立博愛ヒューマンサポート社社長を歴任し、2012年から情報・通信部門の総務本部担当本部長に就任。

大学卒業後、大手自動車メーカーにて、営業、教育、海外事業を経験後、人事部門にて20年振りの人事制度全面改訂に従事。その後、外資系コンピューター、SPA(製造小売業)を経て、2012年4月にアクセンチュア(株)入社。アクセンチュアではThink Globally, Act Locallyの考えの下、人と組織の活性化に取り組んでいる。

東京大学経済学部卒業後、三菱自動車工業(株)に入社。2003年に三菱ふそうトラック・バス(株)へ移籍。CEOアシスタント、人事・総務本部組織戦略部長、開発本部開発管理部長、人事担当常務人事・総務本部長を歴任。2015年11月サトーホールディングス(株)最高人財責任者(CHRO)に就任。2017年4月より北上事業所長を兼務。

